

公共工事等事故情報

事故分類	労働災害	発生日時	令和 6年 11月30日(土曜日) 9時 35分			工事関係者区分	元請け
事故区分	挟まれ・巻き込まれ	性別	男性	年齢	31歳	業種区分	設備
被災程度	左手薬指骨折			事故レベル	I	休業見込日数	0
工事概要	車輪削正作業(車輪を正常な形状にするため専用の器具により回転させながら切削する作業)						
事故概要	<p>車輪削正時は、削正で発生した切粉がメインローラと車輪の間に入ると、車輪や車輪削正装置を損傷させる恐れがあるため、切粉を処理する作業を並行して行っており、その作業はピット中央側1人、ピット外側(海側)1人、ピット外側(山側)1人の計3人で行っていた。</p> <p>当該社員(ピット外側(海側))は、当該軸の車輪削正時、車輪踏面からバック面へ削り始めた際に発生した切粉を、掻き出し棒でピット外側からピット中央側に押し込んだ。その後、掻き出し棒をピット外側に引っ込める際、左手に着用していた切創防止手袋がメインローラと車輪に巻き込まれ左手薬指指先を負傷したもの。</p>						
事故原因	本件事故は、被災者が手を誤ってローラに接触させたことにより発生したものである。						
改善策	<ul style="list-style-type: none"><li>・全社員に回転物に接近して作業することの危険性について、改めて教育を行った。</li><li>・車輪削正装置の回転速度とバイト送り速度を遅くすることで、ピット外側に切粉が出ないようにした。これにより、ピット外側(海側・山側)から切粉を処理する作業を無くした。なお、切粉が車輪削正装置を損傷させる恐れがある場合は、中央担当者が切粉を掻き出し、また、中央担当者の負担軽減のため、片輪ずつ削正することとした。</li><li>・作業マニュアルを修正し、社員周知を行った。</li></ul>						

事故状況図



メインローラ

この車輪とローラの隙間から掻き出し棒にて切粉を押し込み、その後引き抜く際に巻き込まれた。



作業時の状況


改善状況図

5.車輪係測定

① 車輪が停止した状態でラジアルローラ及び車輪バック面に注油し、車輪を回転させ踏面確認を行い清掃が必要な場合は車輪が停止した状態で清掃を行う。

注意! 車輪を回転させた状態でラジアルローラ及び車輪バック面に注油、スコッチによる踏面の清掃はしない。必ず車輪が止まった状態で行うこと。

※2024.11.30労働災害のため変更




① 赤ボタンを押下しランプを消灯状態にする。  
② 回転側の赤ボタンを押下し点滅状態にする  
※メインローラの回転速度は50%に設定  
③ 再度赤ボタン押下にてメインローラ停止

② 車輪に反射材を貼った磁石をセット



7.車輪削正

① 回転速度と刃物送り速度を設定し、回転側をストップ、送り側をON状態にする。



回転速度:70% 送り速度:70%  
回転速度とバイト送り速度を遅くすることで、ピット外側に切粉が出ないように変更。  
ピット外側(海側・山側)から切粉を処理する作業しない。  
2024.11.30労働災害のため回転・送り速度を変更  
※ 山側は送り速度のみ設定

② 右側(海側)から削正開始「ロック解除」押下したまま「運転」を押下



※削正時は海側、山側はバイト及び切粉の状況を確認し切粉がローラに巻き込みそうな際は中央の掻き出し棒に連絡する  
注意! 両側、山側の担当者切粉の掻き出しは行わない  
2024.11.30労働災害のため変更

※異常を感じた際は「1マン」ボタンを押下



作業マニュアルに追記